

加入口数の減少傾向が鈍化



**たばこ生協
通常総代会**

共済別の加入口数の推移 (カッコ内は前年度比)

区分	2020年度	2021年度	2022年度
火災生命 共 済	199,520口 (8.9%減)	183,121口 (8.2%減)	168,702口 (7.9%減)
交通災害 共 済	99,369口 (10.4%減)	89,942口 (9.5%減)	82,166口 (8.6%減)

全国たばこ販売生活協同組合(益田龍朗会長)の2023年度通常総代会が5月30日に東京・都市センターホテルで開催され、東海支部の金澤伸宜総代(愛知県組合岡崎支部長)の議長により上程の6議案が審議された結果、全議案が原案通り可決承認された。事業報告等の概要は次の通り。

2022年度の火災生命共済・交通災害共済の加入状況は加入組合員の減少に伴い減少傾向にあるが、支部・組合の精力的な取り組みの成果により減少傾向が鈍化して、火災生命共済は7.9%減、交通災害共済も8.6%減となつた(別表)。

一方、共済金及び見舞金の支払い状況は、総額1億5800万円で前年度比4%の微増とあた。その内訳をみると火災共済金2100万円は前年度比22.5%の大額な減少、生命共済金8700万円は前年度比42.2%の大額な減少である。収支状況の当期未処分額は「利用分量割戻金」に充

近年のたばこ販売数量は少子高齢化や健康志向の高まりといった構造的な要因により全体として減少傾向にあります。さらに、令和2年4月の改正健康増進法の全面施行により喫煙を巡る環境は一段と厳しさを増しています。こうした状況下で皆様方は地域社会の中心として20歳未満喫煙防止活動や喫煙環境整備活動に積極的に取

蓼沼宏晃・財務省たばこ塩事業室長

り組まれています。特に昨年4月には成年年齢が18歳に引き下げられました。未満喫煙禁止は引き続き20歳未満となっています。関係機関と一緒に取り組んでいます。

ただいることに感謝申し上げます。

重要な喫煙所の維持

ここ数年間はコロナウイルス感染症対策として喫煙所が閉鎖されたり、在人数が制限されたり、在

宅ワークが広がるなど、お客様の商品の買い方、吸い方も大きく変わりました。お客様にたばこを通じてかけがえのないひとときを過ごしていただくためには各地で喫煙所を維持することが今まで以上に重要になっています。

皆様方と地元商店会、自治体など地域コミュニティなどとのつながりこそがたばこ業界を支える重要な基盤です。分煙社会の実現や喫煙環境整備などの対応は皆様方のお力添えなくしては実現できるものではありません。私どもは微力ですが皆様方とともに活動を進めてまいります。

センター株主総会

新谷裕・TSネットワーク代表取締役社長

2008年より当協会が運営してきた成人認証システムタスク

2024年問題

物流のコスト高などの懸念が多いです。弊社としては昨今の激しい事業変化に対応しながら日々様々な工夫や改善を重ねてたばこ物流を維持すること、引き続きコストをしっかりと抑制することなどに努め、これからもたばこ物流の安定化に注力してまいります。

新谷裕・TSネットワーク代表取締役社長

2008年より当協会が運営してきた成人認証システムタスク

2024年問題

物流のコスト高などの懸念が多いです。弊社としては昨今の激しい事業変化に対応しながら日々様々な工夫や改善を重ねてたばこ物流を維持すること、引き

続きコストをしっかりと抑制することなどに努め、これからもたばこ物流の安定化に注力してまいります。

新谷裕・TSネットワーク代表取締役社長

2008年より当協会が運営してきた成人認証システムタスク

2024年問題

物流のコスト高などの懸念が多いです。弊社としては昨今の激しい事業変化に対応

ながら日々様々な工夫や改善を重ねてたばこ物流を維持すること、引き

自民党たばこ議員連盟臨時総会 出席国会議員

(順不同・敬称略・本人出席のみ掲載)

●衆議院議員 《選挙区》

- ◆北海道=中村 裕之(4区)
 - ◆青森県=江渡 聰徳(1区・たばこ議連副会長・党たばこ特別委員会委員長)
 - ◆岩手県=藤原 崇(3区)
 - ◆秋田県=富樫 博之(1区)
 - ◆宮城県=土井 亨(1区)
 - ◆福島県=根本 匠(2区)
 - ◆茨城県=葉梨 康弘(3区)
 - ◆群馬県=井野 俊郎(2区)
 - ◆埼玉県=中野 英幸(7区) / 山口 晋(10区)
 - ◆東京都=大西 英男(16区)
 - ◆山梨県=堀内 詔子(2区)
 - ◆新潟県=細田 健一(2区) / 斎藤 洋明(3区)
 - ◆愛知県=熊田 裕通(1区・たばこ議連幹事) / 根本 幸典(15区)
 - ◆岐阜県=金子 俊平(4区)
 - ◆滋賀県=小寺 裕雄(4区)
 - ◆京都府=勝目 康(1区)
 - ◆兵庫県=渡海 紀三朗(10区)
 - ◆岡山県=逢沢 一郎(1区)
 - ◆島根県=高見 康裕(2区)
 - ◆徳島県=山口 俊一(2区・たばこ議連会長)
 - ◆愛媛県=長谷川 淳二(4区)
 - ◆福岡県=鬼木 誠(2区) / 古賀 篤(3区)
 - ◆長崎県=加藤 竜祥(2区)
 - ◆熊本県=木原 稔(1区) / 坂本 哲志(3区・たばこ議連事務局長) / 金子 恭之(4区・たばこ議連幹事長代理)
 - ◆大分県=衛藤 征士郎(2区・たばこ議連顧問) / 岩屋 納(3区・たばこ議連副会長)
 - ◆鹿児島県=宮路 拓馬(1区・たばこ議連幹事)
 - ◆沖縄県=西銘 恒三郎(4区)
- 衆議院議員 《比例区》(カッコ内は選挙区)
- ◆東北ブロック=秋葉 賢也(宮城県2区) / 上杉 謙太郎(福島県3区) / 金田 勝年(秋田県2区・たばこ議連副会長)
 - ◆北関東ブロック=田所 嘉徳(茨城県1区) / 五十嵐 清(栃木県2区)
 - ◆東京ブロック=石原 宏高(東京都3区)
 - ◆北陸信越ブロック=塚田 一郎(新潟県1区) / 泉田 裕彦(新潟県5区)
 - ◆東海ブロック=石井 拓(愛知県13区) / 宮澤 博行(静岡県3区)
 - ◆近畿ブロック=奥野 信亮/柳本 顕 / 大串 正樹(兵庫県6区) / 谷川 とむ(大阪府19区) / 田中 英之(京都府4区)
 - ◆中国ブロック=小島 敏文(広島県6区=新5区)
 - ◆四国ブロック=瀬戸 隆一(香川県2区)
 - ◆九州ブロック=保岡 宏武/岩田 和親(佐賀県1区) / 古川 康(佐賀県2区) / 小里 泰弘(鹿児島県3区)

●参議院議員 《選挙区》

- ◆滝沢 求(青森県・たばこ議員連盟幹事)
- ◆石井 浩郎(秋田県)
- ◆加藤 明良(茨城県)
- ◆高橋 克法(栃木県)
- ◆臼井 正一(千葉県)
- ◆滝波 宏文(福井県)
- ◆若林 洋平(静岡県)
- ◆藤川 政人(愛知県)
- ◆宮沢 洋一(広島県・たばこ議連副会長)
- ◆松下 新平(宮崎県)

●参議院議員 《比例代表》

- ◆山田 俊男(たばこ議連幹事長・全国たばこ販売政治連盟推薦) / 藤木 貞也(たばこ議連幹事・同)
- ◆野田 育(たばこ議連前会長)

たばこ議員連盟の活動目標決まる 業界団体代表等約150名が傍聴



②挨拶する山口俊一(左)・たばこ販売・耕作者団体の代表約150名が傍聴

朗会長、全国たばこ耕作組合中央会の寺井正義会長、J.T.役員、財務省、総務省、農水省、厚労省の関係4省代表者、来賓に全協の益田龍朗会長、全国たばこ耕作組合中央会の寺井正義会長、J.T.役員、財務省、総務省、農水省、厚労省の関係4省代表者が列席のほか、たばこ販売・耕作組合の団体代表者約150名が傍聴した。臨時総会で「決議文」(一面掲載)が決定されたが、司会の坂本哲志

自由民主党たばこ議員連盟(山口俊一会長・加入議員数238名)は4月14日現在の臨時総会には、衆参国會議員本人出席68名、代理出席68名、来賓に全協の益田龍朗会長、全国たばこ耕作組合中央会の寺井正義会長、J.T.役員、財務省、総務省、農水省、厚労省の関係4省代表者が列席のほか、たばこ販売・耕作組合の団体代表者約150名が傍聴した。臨時総会で「決議文」(一面掲載)が決定されたが、司会の坂本哲志

加藤和人・全協副会長が 両団体の要望趣旨説明

悪影響の最小化 今般のたばこ税増税が不可避免というのであれば、加熱式負担の公平・公正の税制改正(後述)を最優先に、実施時期を可能な限り後ろ倒しするという時間的猶豫とともに、小幅な段階的実施をすることで、たばこ耕作者、中小零細小売店をはじめとする国内たばこ産業への悪影響を最小化するといった業界影

響の緩和を切望する。

「加熱式」の税制 热式たばこは市場の3分の1を占めるに至っているが、現在の税制では「箱当たり紙巻たばこと50円の税額差がある。紙巻たばこから加熱式たばこへの転移が税制によって後押しされている現状にある。また、加熱式たばこの国産葉たばこ使用量は紙巻たばこに比べて極めて少なく、

不可避なら加熱式たばこの税制改正を最優先に

いる。したがって、紙巻たばこと加熱式たばこの税負担を同等とすることを最優先にしていただきたい。

分煙環境整備

たばこ税を活用した分煙環境整備はこの4年間に

たばこ生協の「年間表彰」に6組合

次いで、たばこ生協2022年度年間表彰式では、「火災生命共済」部門で岩手県組合二戸支部、矢部組合、福岡県組合直方支部、「交通灾害共済」部門では岩手県組合岡山支部、松山組合、長野県組合上田支部が表彰された。

表彰式



「年間表彰組合」を受賞した代表者の皆さん



益田全協会長から白石九州北部連合会長(右)に表彰状授与

全協会長表彰に九州北部連合会が5月30日の生協総代会前に開かれ、受賞した九州北部連合会の白石宗範会長に、益田龍朗全

て既報)。

分煙環境整備活動の成果

各地で喫煙所設置を実現

かねてより全国各地で、喫煙所の設置等を求めた分煙環境整備活動が、地道に粘り強く展開されており、その成果が次々に報告されている。今月号では、その中から、大分県と茨城県の事績を紹介する。



写真上=2022年7月25日の要望書提出。左から大分県組合日田支部の用松トミ子組合員、JT大分支社の磯崎俊一郎課長、大分県組合日田支部の樋口正俊部長、大分県組合日田支部の高瀬ムツ子理事、日田市原田啓介市長。写真下=JR日田駅前に設置された喫煙所

県大分市を結ぶJR九州久大本線の日田駅に5月18日、地方たばこ税の一部を活用した喫煙所が設置された。これは、大分県組合の大分県組合日田支部の高瀬ムツ子理事、日田市原田啓介市長がJR日田駅前に設置された喫煙所

JR日田駅前に喫煙所を設置

大分県組合日田支部



左からJT大分支社の早矢仕正和部長、杵築市の永松悟市長、杵築組合の田邊公一理事長



スタンド灰皿は城下町の景観に溶け込んでいる

茨城組合龍ヶ崎支部・取手地区

JR取手駅東口に新喫煙所より一層の分煙環境整備を要請



写真下段、左から茨城組合龍ヶ崎支部の荒木民支部長、取手市の藤井信吾前市長、JT茨城支社の太田隆樹支社長。上段、左からJT茨城支社の井上貴範副支社長、茨城組合龍ヶ崎支部の若林正子支部役員、同寺田つや子支部役員、茨城県連合会齊藤典洋事務局長



新喫煙所 JR取手駅東口の要請した。

大分県杵築組合

杵築市にオリジナルスタンダード灰皿寄贈式を行なった。これは杵築組合が分煙環境整備事業の一環として、JT大分支社の協賛で

杵築市にオリジナルスタンダード灰皿を寄贈

大分県杵築組合の田邊公一理事長は3月15日、杵築市役所において行われた「オリジナルスタンダード灰皿寄贈式」に、JT大分支社

啓介市長と会見、再度、屋外分煙施設を設置するよう強く求めたところ、今年

杵築市にオリジナルスタンダード灰皿を寄贈

大分県杵築組合の田邊

紙巻、加熱式、リトル・シガーの販売実績の推移(単位:億本)

年度	紙巻	加熱式	リトル	合計
2020	988	413	127	1,528
2021	937	460	97	1,494
2022	926	522	44	1,492

月第4四半期累計(4月~3月)に発表した2022年度の月たばこ販売実績は、紙巻一般社団法人日本たばこ協会(TIOJ)が5月29日

総販売数量は1492億本・紙巻たばこは926億本

2022年度第4四半期累計(4月~3月)たばこ販売実績

2022年度も同53億本(54.6%)の大幅な減少。

2021年度が対前年268億円(11.5%)減、加熱式たばこが522億本(同4.5%・62億本の増)、リトル・シガーが44億本(同5.4%・53億本の減)となつて

おり、総販売数量(本紙推計)は1492億本(同0.1%・2億本の減)となつて

る(別図参照)。

紙巻たばこ 2021年度は対前年51億本(5.2%)、2022年度は同11億本(1.1%)の減と減少傾向が続いているが、2022年度は、減少傾向に見受けられる。

販売定価代金は、増税による値上げにより販売本数は減少しているものの、

2022年度は、減少傾向に見受けられる。

紙巻たばこ 2021年度は対前年47億本(11.4%)、2022年度は同62億本(13.5%)の増。販売定価代金も、2021年度は対前年1800億円(16.9%)、2022年度は同2013億円(16.2%)の増である。

リトル・シガ 2020年の大増税による大幅な値上げにより、別図のように2021年度に对前年30

セブンスターの1位は変わらず「セブンスター・ボックス」が第2位

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

2022年度第4四半期累計(4月~3月)の

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績は、第1位の「セ

2022年度第4四半期累計(4月~3月)の

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻たばこ上位20銘柄の販売実績

紙巻、加熱式、リトル・シガーの販売実績の推移(単位:億円)

年度	紙巻	加熱式	リトル	合計
2020	926	522	44	1,492
2021	937	460	97	1,494
2022	988	413	127	1,528

月たばこ販売実績は、紙巻

(TIOJの発表より)

月たばこ販売実績は、紙巻



美化活動に参加したみなさん

兵庫県

関西連合会・兵庫県内の2組合

神戸組合は三宮駅周辺で

関西連合会(室瑠会長)では、管内の各組合・支部により地域の主要駅周辺などで美化活動が展開された。

兵庫組合は三宮駅周辺で

長谷管内では、管内の各組合・支部により地域の主要駅周辺などで美化活動が展開された。

姫路組合は

川雅昭理事長(長谷川雅昭)では5月28日、神戸市の三宮駅周辺で、長谷川雅昭理事長はじめ組合員、女性部代表14名と、元神戸市会議員の守屋隆司氏、J.T.兵庫支社の中谷忠司副支社長の総勢16名が参加、背中に神戸市と兵庫県のたばこ税額をアピールするチラシを貼付し(写真右下)、活動を展開した。

姫路・龍野・加西支部は

兵庫県姫路組合(西脇龍野支部長)が姫路市役所、龍野支部(岸野弘支部長)が姫路・龍野・加西支部で



姫路支部のみなさん



龍野支部のみなさん



加西支部のみなさん

岡山県

J.R.岡山駅から

「桃太郎大通り」周辺など

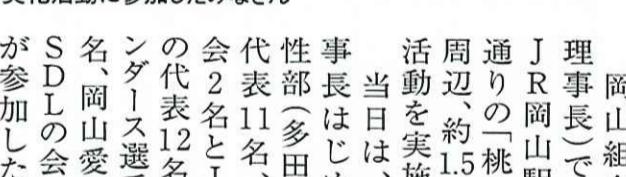
東中国連合会・岡山組合

東中国連合会(西川祐司会長)では、管内の

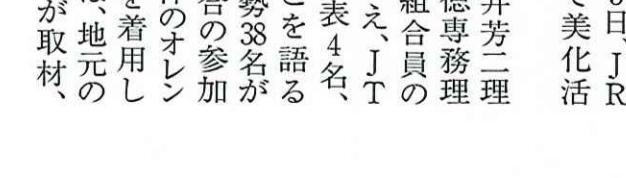
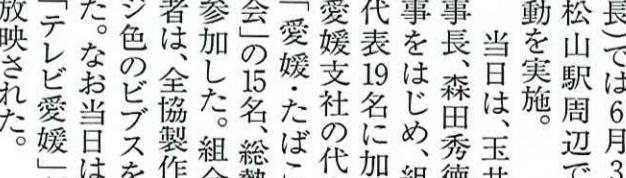
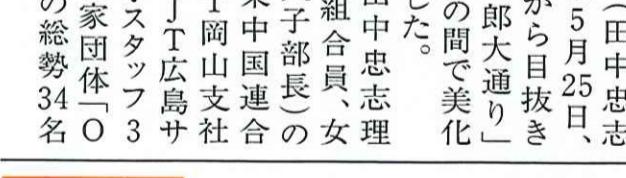
各組合・支部により地域の主要駅周辺などで美化活動が行われた。

岡山組合(田中忠志理事長)では5月25日、JR岡山駅から目抜き通りの「桃太郎大通り」周辺、約1.5kmの間で美化活動を実施した。

当日は、田中忠志理事長はじめ組合員、女性部(多田久子部長)の代表11名、東中国連合会2名とJ.T.岡山支社の代表12名、J.T.広島サンドレス選手・スタッフ3名、岡山愛煙家団体「OSDLの会」の総勢34名が参加した。



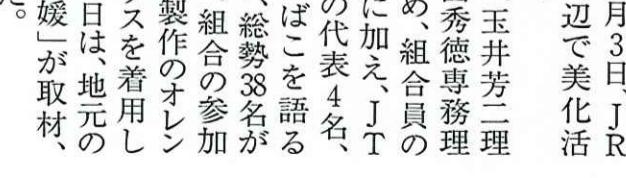
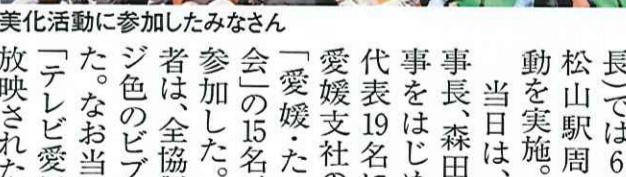
美化活動に参加したみなさん



美化活動に参加したみなさん

愛媛県

JJR松山駅周辺で・四国連合会・松山組合



美化活動に参加したみなさん

四国連合会(玉井芳二会長)

松山組合(玉井芳二理事長)

二会長)では、管内の各組合・支部により地域の主要駅周辺などで美化活動が行われた。松山組合(玉井芳二理事長)では6月3日、JR松山駅周辺で美化活動を実施。

当日は、玉井芳二理事長はじめ組合員の代表19名に加え、J.T.愛媛支社の代表4名、「愛媛・たばこを語る会」の15名、総勢38名が参加した。組合の参加者は、全協製作のオレンジ色のビブスを着用し

た。なお当日は、地元の「テレビ愛媛」が取材、放映された。

全国統一美化活動

地域の環境美化等に貢献する組合の活動 全国各地で展開・雨天決行で頑張る組合も

新型コロナの影響がほぼ解消された2023年5月30日から6月5までの期間、「全国統一美化活動」が再開され、その前後の期間と合わせ全国各地で美化活動が展開された。今月号では、その中から福島県、栃木県、埼玉県、兵庫県、岡山県、愛媛県の活動を紹介する。

福島県

JR・いわき駅周辺で

福島県連合会・新福島組合平支部



美化活動に参加したみなさん

福島県連合会(戸川兼一会長)では、管内の各組合・支部により地域の主要駅周辺などで美化活動が行われた。新福島組合(近藤崇理事長)の平支部(江尻仁太郎支部長)では6月2日、JR・いわき駅周辺で美化活動を実施。当日は、江尻仁太郎支部長はじめ、女性部員の代表17名とJT福島支社の森重信隆副支社長他1名の総勢19名が参加。全員が全協製作のオレンジ色のビブスを着用、雨天決行で傘を差し、マスク着用で美化活動を展開した。



美化活動に参加したみなさん

栃木県連合会(樽見行雄会長)では、管内の各組合・支部により各地域で美利支部(中山武理事長)の足利支部(中山公治支部長)では5月28日、組合の美化活動の一環として、渡良瀬川とその支流の美化を目的に1995年から行われている渡良瀬川クリーン運動に参加した。

当日は、参加人数2000人と最も規模の大いなか橋緑地多目的広場会場に、中山公治支部長はじめ、女性部組合員の代表ら12名が全協製作のオレンジ色のビブスを着用して、マスク着用して美化活動を行った。



美化活動に参加したみなさん。左から2人目が越谷市清田己喜男市議会議員、3人目が黄川田仁志衆議院議員

埼玉県連合会(高沢啓会長)では、管内の各組合・JRや私鉄の主要駅周辺で美化活動が行われた。このうち埼玉東組合(小柴文男理事長)では6月13日、越谷市の南越谷駅(東武・武蔵野線)と新越谷駅(東武スカイツリーライン)・東武鉄道伊勢崎線)周辺において美化活動を行った。

当日は雨が降る中、埼玉東組合の成海世時理事(越谷市たばこ販売促進会会長)はじめ、組合員、女性部の代表11名と、J.T.埼玉支社の奥山善太部長ほか1名が参加した。さらに、黄川田仁志衆議院議員(埼玉3区)、越谷市の清田己喜男市議会議員も急遽、駆けつけ、総勢16名が全協製作のオレンジ色のビブスを着用、雨天決行傘を差しながらひときわ目立つ美化活動を行った。

小柴文男理事長は、「私たちの活動が、地域のみなさんに伝わり、愛煙家のマナーアップにつながるよう、との思いを込め、雨の日でも頑張って活動しています」と話す。

栃木県

渡良瀬川クリーン運動に参加 栃木県連合会

栃木の葉組合足利支部

埼玉県連合会・埼玉東組合

越谷市の南越谷・新越谷駅周辺で 黄川田仁志衆議院議員も参加

埼玉県連合会(高沢啓会長)では、管内の各組合・JRや私鉄の主要駅周辺で美化活動が行われた。このうち埼玉東組合(小柴文男理事長)では6月13日、越谷市の南越谷駅(東武・武蔵野線)と新越谷駅(東武スカイツリーライン)・東武鉄道伊勢崎線)周辺において美化活動を行った。

当日は雨が

事業家に対する渋沢栄一は、「必ず信念がなくてはならない。而してまず思想を鍛錬する必要がある」と述べています。そして、事業を発展させることには「思想が堅実にして、事に処し物に応じて、適当なる働きを為すにあり。その働きは何によりて得るか」というに、学

志操堅固にして人間力に富み、思想を鍛磨して実務に通じる人でした。そもそも、事業は現実社会の最前線である現場で動いています。現場は多様な現実と複雑な感情が交錯している修羅場です。カネと情報と感情が渦巻いていますから、事業家は先ずカネと情報の流れ方に学

理のみで動いているわけではありません。理に情を添えなければ真の活動は生まれないのです。ここに人間力が求められます。

声は聞きにくくなる。そればかりではなく、いい話、耳障りのいい話しか入ってこなくなる。(中略)「自分が正しいかを考え、なすべきことをなしていくところに、力強い信念なり」と、特に身近な人からの言ふべきことがあつても言わぬ。大抵がそういうもんやね」と語っています。人は誰しも自分が大事であり、可愛いものです。そのことはごく自然な感情ですが、権力を握った事業

で試されるよう

「思想堅実、事に処して適当なる働き」

▼渋沢栄一

ジャパン・テズ・ナンバーワンと讃えられた時代は遠い昔となり、新自由主義の残滓や情報技術の加速度的な進展に追われている今日です。榮枯盛衰の浮世を象徴するような昨今ですが、このような時代であるからこそ、事業家としての心構えが

問の力によらなければならぬ」と訓えていました。しかし、「いかに学問があり、才能があつても、人格において欠けるところがない」とも述べています。渋沢の求める事業家像は、

を、さらにはそれらの蓄積と利用のメカニズムを熟知しておかねばなりません。カネと情報の世界は論理を知るために学問を必要とします。この時、その人が社会や人生に対しどのように考えているかといふ思想が試されるのであります。また、人とは感情の生き物ですから、事業活動に従事する現場の人々は

で一番偉いんだ、そのおれに意見するとはなにごとだ」と威張るような事業家には、耳障りのいい情報しか入ってきません。剩しき入つて来る情報を自分の都合のよいように曲解えそのままの事業家は、いかに賢い業者であつて、イエスマント外は寄せ付かないようになつてしまひます。松下幸之助は、「上に立てば立つほど、特に身近な人からの

度量は、現場を知り実務に携わる姿勢に通じます。その度量をもつて、事業家は、直言や諫言をしてくれる人を大事にする度量をもつて、事業

が自分の利害や感情をとらわれてしまうと、判断を誤ってしまうのです。そこで、何が正しいかを考え、なすべきことをなしていくところに、力強い信念なり勇気が湧き起つてくる」とも訓えているのです。

堅実な思想をもつ事業

先人の言葉 ⑯

■数独(1から9までの数字を入れます)■
月号のクイズは、数独(9字数独)です。タテの9マス・ヨコの9マス、そして、青い線で囲んだ9マスには、1から9までの数字が入ります。
ただし、タテ・ヨコ、青い線で囲んだ9マスには、同じ数字はありません。
すべてのマス目に1から9までの数字を入れ、AとBとCとDに入る数字の合計がいくつになるか、答えてください。

C	1	6	8	7				
2	9	7	1	5	3			A
8	5		9	6	2			
7	2	9				6	4	8
	8	1	4			5	2	
5	4	3				9	1	7
			7	8	5		6	4
B		3	1	6	8	9	2	
			4	9	7	3	D	

答=○(A+B+C+D)

★正解者の方から抽選で10名様に
3000円のクオカードをプレゼント!

【応募方法】

ハガキに7月号と記入の上、答え、住所、氏名、年齢、電話、所属組合、今月号の「興味のあった記事」と「興味のなかった記事」を明記してお送りください。締め切りは2023年8月5日(当日消印有効)。当選者と正解の発表は本紙2023年9月号です。

【クイズ・お便りコーナー応募先】

〒105-0014 東京都港区芝1-6-10 芝SIAビル7階
全国たばこ新聞「クイズ」係 (☎03-3432-8346)

5月号クイズの正解と当選者

●正解 カイギ

●当選者(敬称略)

上田 妙子(北海道)	菅家 小嶋	朱美(福島県)
三嶽 容子(東京都)	沖 昌浩(京都府)	旭(愛知県)
神月 美佐子(兵庫県)	山野 孝夫(広島県)	山野(広島県)
山本 三江子(富山県)	大西 純子(福岡県)	松尾 寿磨子(香川県)

以上10名の方が当選いたしました。おめでとうございます。

連合会の通常総会

情報伝達意思疎通を図りたい」との決意を述べた。

承認された2023年

最大限の情報提供 東京都連合会 第79回通常総会が5月25日に都内・東京中央たばこ会館で開催された。

始めに森岡和夫会長

(写真内)

は「当面する

大きな課題はたばこ税増

はたばこ税増税の具体的な議論が始まるというが、組合組織あげて増税断固反対の立場で臨んでいきた

い。また、2026年3月

末のタスボ終了に対し

は、既存自販機の改作、新

型自販機の開発の課題に

向こう合うことになるが、組

合員の意向を十分に踏ま

え、現状や今後の道筋等の

度事業計画では、重点課題

の促進(喫煙場所の確保)

②組合が組合員から期待

される活動を伝えるコミュ

ニケーション環境づくり(情

報発信・情報共有)③組合

統合に向けた取り組み―

などを柱に積極的な事

業活動を盛り込んだ。

なお、関東財務局横浜

支社の宮下剛支社長、JT神奈川

TTSネットワーク(株)たばこ

を楽しむ会(神奈川)の

関係者多数が列席した。

(写真内)

は「当面する

大きな課題はたばこ税増

はたばこ税増税の具体的な議論が始まるというが、組合組織あげて増税断固反対の立場で臨んでいきた

い。また、2026年3月

末のタスボ終了に対し

は、既存自販機の改作、新

型自販機の開発の課題に

向こう合うことになるが、組

合員の意向を十分に踏ま

え、現状や今後の道筋等の

度事業計画では、重点課題

の促進(喫煙場所の確保)

②組合が組合員から期待

される活動を伝えるコミュ

ニケーション環境づくり(情

報発信・情報共有)③組合

統合に向けた取り組み―

などを柱に積極的な事

業活動を盛り込んだ。

なお、関東財務局横浜

支社の宮下剛支社長、JT神奈川

TTSネットワーク(株)たばこ

を楽しむ会(神奈川)の

関係者多数が列席した。

(写真内)

は「当面する

大きな課題はたばこ税増

はたばこ税増税の具体的な議論が始まるというが、組合組織あげて増税断固反対の立場で臨んでいきた

い。また、2026年3月

末のタスボ終了に対し

は、既存自販機の改作、新

型自販機の開発の課題に

向こう合うことになるが、組

合員の意向を十分に踏ま

え、現状や今後の道筋等の

度事業計画では、重点課題

の促進(喫煙場所の確保)

②組合が組合員から期待

される活動を伝えるコミュ

ニケーション環境づくり(情

報発信・情報共有)③組合

統合に向けた取り組み―

などを柱に積極的な事

業活動を盛り込んだ。

なお、来賓には関東財務

局東京財務事務所次長、

JT東京支社の島川敏彦

支社長、都議会自民党た

ばこ推進政策研究会の事

務局長ら多数が列席した。

(写真内)

は「当面する

大きな課題はたばこ税増

はたばこ税増税の具体的な議論が始まるというが、組合組織あげて増税断固反対の立場で臨んでいきた

い。また、2026年3月

末のタスボ終了に対し

は、既存自販機の改作、新

型自販機の開発の課題に

向こう合うことになるが、組

合員の意向を十分に踏ま

え、現状や今後の道筋等の

度事業計画では、重点課題

の促進(喫煙場所の確保)

②組合が組合員から期待

される活動を伝えるコミュ

ニケーション環境づくり(情

報発信・情報共有)③組合